

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



シドニー事務所

ニュージーランド地方自治体協会 2019 年次カンファレンスでアーダーン首相に説明

ニュージーランドの地方自治体の首長や議員などが一堂に会するニュージーランド地方自治体協会（LGNZ）の 2019 年次カンファレンスが、7 月 7 日から 9 日までの日程でニュージーランドの首都ウェリントンにおいて開催されました。

この総会では、ニュージーランド政府の首相や地方自治体担当大臣の講演、地方自治体関係者等による環境・住宅・地方主義等の諸課題に関する講演やパネルディスカッション、関係機関によるブース出展などが行われました。

クレアシドニー事務所もブース出展し、直近の活動状況の説明、海外自治体幹部交流協力セミナーの周知、日本で今年から 3 年連続で開催される大規模国際スポーツ大会（ラグビーワールドカップ 2019 日本大会、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西）の PR や日本各地の観光情報の提供などを行いました。なお、ニュージーランドのジャシンダ・アーダーン首相に、クレアの概要やニュージーランドと日本の間の姉妹都市交流の状況を説明する機会にも恵まれました。

また、日本の地方自治体と姉妹都市関係を有する地方自治体の首長や議員など、さらには海外自治体幹部交流協力セミナーへの参加経験者が、数多くクレアブースに詰め掛け、クレアシドニー事務所のニュージーランドにおけるネットワークをさらに強固にすることができました。



ニュージーランドのジャシンダ・アーダーン首相に説明するクレアシドニー事務所職員



ロンドン事務所

JET プログラム出発前オリエンテーション・レセプションを開催

英国から出発する JET プログラム新規参加者のための出発前オリエンテーションとレセプションが 7 月 19 日に、ロンドンとエディンバラの 2 カ所で開催されました。英国の JET 参加者増に伴い、昨年度からスコットランド地域とその他の地域に分けて当オリエンテーション・レセプションを開催することとなり、今年は 2 年目です。

ロンドンのオリエンテーションでは、まず、日本語教室がレベル別に開催され、基本的な挨拶や名刺交換などの練習を行いました。その後、JET プログラム経験者による体験談や、旅行会社による渡航準備のほか教授法の研修など、さまざまなセッションが用意されました。エディンバラでは、このほか、クレアの紹介や日本でのサポート体制についてロンドン事務所がプレゼンテーションを行いました。

オリエンテーション終了後はレセプションが行われ、参加者は JET プログラム経験者や日系企業とも交流を深めました。ロンドンではレセプションと併せ、JETAA（JET プログラム元参加者の会）の活動への貢献を評し、元 JETAUK 代表へ鶴岡駐英英国特命全権大使から表彰状の授与も行われました。

新規参加者は、出発前から JETAA と関わる機会を持つことができ、日本での活躍だけでなく、帰国後の JETAA での活動にも期待が高まります。



ロンドンでのオリエンテーション



エディンバラでのレセプション



ニューヨーク事務所

クレアニューヨークセミナーを開催

クレアニューヨーク事務所では有益な情報を日系機関と共有することを目的にセミナーを開催しており、この度、「指揮者のいないオーケストラ」として世界的に著名な「オルフェウス室内管弦楽団」を講師として招きました。参加者は、「オルフェウス・プロセス」といわれる、演奏家が主体的に意見を出し合うことで指揮者なしに素晴らしい音楽を創り上げる手法について学びました。また、当事務所が4月に行われた同楽団の日本ツアーに協力したことから、講演では謝意が述べられました。



ケイトリン・サイモン氏によるプレゼンテーションの様子

夏の全米知事会議に平井鳥取県知事が参加

7月24日から26日まで、夏の全米知事会議がユタ州ソルトレイクシティで開催されました。日本からは平井伸治鳥取県知事が参加し、米国知事との面会の場を作るべくクレアニューヨーク事務所が支援を行いました。平井知事は、全米知事会長に就任したホーガン・メリーランド州知事をはじめ、旧会長のブロック・モンタナ州知事、ホストのハーバート・ユタ州知事、鳥取県の姉妹州であるところのスコット・バーモント州知事等複数の米国知事と面会し、地方レベルでの日米関係の強化の重要性を訴えました。



左：ホーガン・メリーランド州知事
右：平井鳥取県知事（夕食会場にて）



北京事務所

福建省福州市で地方自治体のPR交流会を開催しました

「更なる地方協力と発展機会の共有」をテーマに、クレア北京事務所は8月21日から23日にかけて、福建省福州市で第18回日中地域間交流推進セミナーを開催しました（セミナーの詳細は、フォーラム12月号現場レポートにて掲載予定です）。

このセミナー開催にあわせて、福建省内の旅行会社および地方政府関係者（計31の団体）を招き、15の自治体関係者とのPR交流会を開催しました。各自治体は中国側との貴重な交流機会を生かそうと、熱心にPR活動を行い、中国側も自らの地方をアピールするなど、日中間の活発な交流が行われました。

また、会場には地元メディアも取材に訪れ、参加者にインタビューを行う光景も見られました。

※参加自治体：山形県、福島県、茨城県、富山県、福井県、岐阜県、滋賀県、徳島県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、札幌市、新潟市、熊本市



PR交流会の様子



地元メディアも取材に訪れた



シンガポール事務所

「日本インドネシア知識交流セミナー」を開催！！

7月31日、クレアシンガポール事務所は、ジャカルタ市内において、インドネシア国家行政院および日本国総務省と共同で、「災害対策と危機管理」をテーマに「日本インドネシア知識交流セミナー」を開催しました。

インドネシアでは、地形的条件から、地震、津波、地滑りなど多くの自然災害が発生していますが、地方自治体レベルでの災害対応、危機管理体制作りは十分に行われていません。

今回のセミナーでは、過去に大規模な災害を経験した兵庫県と陸前高田市から講師をお招きし、災害時に地方自治体が果たすべき役割と、必要とされる関係機関同士の協力体制について、講演いただきました。

セミナーに参加したインドネシアの地方自治体職員は、実際の経験に基づく両講師の講演に熱心に聞き入り、講演終了後の質疑応答では、多くの質問が寄せられ、セミナーは盛況のうちに幕を閉じました。

今後も当事務所では、さまざまな機会で、日本、インドネシア両国における交流の促進を図ってまいります。



兵庫県職員による講演の様子



陸前高田市職員による講演の様子



ソウル事務所

韓国メディア「チャンネル J」が長野県を訪問取材！

8月6日から8日にかけて、韓国メディア「チャンネル J」の取材団が、クレアソウル事務所との連携により、長野県を訪問取材しました。

松本市では国宝・松本城や城下町の風情が漂う中町通りを散策。松本市は湧き水に恵まれた土地として有名で、レポーターはレトロなポンプでくみ上げた井戸水の美味しさに感激していました。

安曇野市では、わさび全国生産量 10%のシェアを誇る大王わさび農場を見学。広大なわさび園を散策した後は、すり立てわさびやわさびソフトを試食しました。ソフトクリームの甘さの後に来る新鮮なわさびの風味に、レポーターも頬がゆるんでいました。

白馬村にある HAKUBA MOUNTAIN HARBOR (ハクバマウンテンハーバー) では、NY 発の老舗ベーカリーが併設された絶景テラスから、夏の北アルプスの大パノラマを一望しました。

阿智村では、そばや五平餅など郷土料理を食した後、ゴンドラで標高 1,400 m 地点に登って、暗闇の中の星空鑑賞ツアーを撮影しました。取材の様子は今後、チャンネル J にて複数回放送予定です。今後も引き続き各地を取材して、日本の地域の魅力を伝える番組を制作・放映予定です。



松本城での撮影



HAKUBA MOUNTAIN HARBOR (ハクバマウンテンハーバー) での撮影



パリ事務所

5 人の新 JET 参加者を激励、日本とフランスの懸け橋に！

7月10日、フランスから新たに JET プログラムに参加する 5 人 (ALT (外国語指導助手) 1 人、CIR (国際交流員) 4 人) を対象に、パリ日本文化会館にて出発前オリエンテーションおよび壮行レセプションが開催されました。

今回の参加者は、フランス初となる双子 CIR や小中学校で「英語」を教えるフランス人 ALT などバラエティ豊かで、甲府市、長崎県五島市、熊本県相良村 (ALT)、群馬県富岡市、松江市 (写真左から) に配置されています。

オリエンテーションでは、クレアパリおよび CIR 経験者から日本で働く心構えや多岐にわたる業務内容を説明しました。

在フランス日本国大使館主催壮行レセプションでは、木寺昌人駐フランス日本国大使およびクレアパリ羽白所長から、これから日本にはばたく 5 人に対し、激励の言葉が贈られました。JETAA メンバーをはじめ、フランス高等教育機関や在仏日本企業、報道関係者も参加し、日仏交流の新たな担い手の門出を盛大に祝いました。少し緊張していた 5 人も、多くの激励の言葉に日本での仕事や生活への期待を一層募らせていました。

新 JET 参加者の皆さんには、早く日本での生活に慣れ、地域の国際化、そして日本とフランスの懸け橋として活躍することを期待しています。



オリエンテーションの様子



木寺大使 (中央)、クレアパリ事務所長 (左端) と新 JET 参加者



市民国際プラザ

市民国際プラザセミナー開催報告 (東京) と、セミナー開催 (札幌) のご案内

8月9日、市民国際プラザ 20 周年記念・第 22 回自治体と NGO/NPO の連携推進セミナー「国際協力で地域活性化～海外と日本の学び合いで地域づくり人づくり～」を開催し定員を上回る 60 人に参加いただきました。セミナーでは、SDGs と地域における SDGs の取り組みを概観した後、飯田市×レガスピ市 (フィリピン)、つくば市・NPO 法人クロスフィールズ×チェンナイ、湯河原町・野毛坂グローバル×タイの 3 事例を、自治体職員、市民社会双方からお話いただきました。パネルディスカッションでは、事業実施後のマインドセットの変化や、社会インパクトの考え方、内発的開発の重要性なども議論され、援助・被援助国という構図ではなく、国際協力がもたらす双方向の学び・人材育成や地域づくりのために自治体と NGO・NPO が連携する意義等を考えるセミナーとなりました。

また、11月8日には札幌市で身近な国際協力と地域の活性化をテーマに「地域国際化ステップアップセミナー」を開催予定です。是非ご参加ください！

セミナー報告書、セミナー参加者募集は、市民国際プラザ WEB サイトにアップ予定です！

<http://www.plaza-clair.jp/>



セミナーの様子



2030 年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

セミナーは SDGs についても考えていただく企画としています

経済交流課

助成事業の募集と自治体国際協力交流事業（LGOTP）要望調査を行います！

クリアでは、2020年度に向けた助成事業申請募集・自治体国際協力交流事業要望調査を以下のとおり行いますので、皆様からの応募をお待ちしております。

【助成募集】

- ・経済活動助成事業（海外販路開拓支援事業・インバウンド支援事業）
- ・自治体国際協力促進事業（モデル事業）

【募集開始時期】9月末～10月上旬（予定） 【申請期限】11月下旬（予定）

【要望調査】

- ・自治体国際協力交流事業（LGOTP）

【要望開始時期】9月末～10月上旬（予定） 【要望締切】11月上旬（予定）

※詳しい内容やスケジュールは当協会HPをご確認ください。

■お問い合わせ 経済交流課 Tel：03-5213-1726

Mail：keishin@clair.or.jp（経済活動助成事業）松永、田村
kokukyou@clair.or.jp（自治体国際協力促進事業）新野、佐藤
lgotp@clair.or.jp（自治体職員協力交流事業）松永、金



水質試験の実習を行うミャンマーヤンゴン市の研修員（2015年度 福岡市受入れ）

JET プログラム事業部

1,958 人の新規 JET プログラム参加者が来日！ 来日直後オリエンテーション（7・8月）を開催しました

JET プログラムは、世界各国から ALT（外国語指導助手）、CIR（国際交流員）、SEA（スポーツ国際交流員）を招致して全国に配置しています。今年で 33 年目を迎え、これまでに、75 カ国から約 7 万人が参加し、小中高等学校での語学指導や地域の国際交流活動に従事しています。

この度、38 カ国から 1,958 人の新規 JET プログラム参加者が来日し、2 日間の研修を受講しました。

研修では、組織や地域に参加する心構えや日本のビジネスマナーをはじめ、学校での役割、指導方法や翻訳・通訳業務のノウハウといった実践的な知識まで幅広く取り扱いました。

また、現役 JET プログラム参加者や JET 経験者による活動状況等を踏まえた講義もあり、今後の具体的な仕事や日本での生活のイメージを持つとともに、互いに交流を図ることができたと思います。研修を終えた参加者は、新しい土地での生活に緊張しつつも、期待を抱いて各任用団体の元へ旅立ちました。今後の皆さんのご活躍を期待しています。



来日直後オリエンテーション分科会の様子

交流親善課

“新たな交流” 始めませんか？

クリアでは、新たな姉妹（友好）都市提携を希望している自治体の情報を把握し、相手方の自治体探しを支援しています。「海外の自治体と交流をしたい！でも、交流相手先の自治体の探し方が分からない…」というときには、ぜひ、クリアのホームページに掲載している「姉妹（友好）都市提携を希望する日本の自治体・海外の自治体」の情報をご活用ください。人口、地勢、産業、希望交流内容など提携を希望する自治体の情報を掲載しています。また、海外の自治体向けに日本の自治体の情報も掲載していますので、掲載希望がありましたら交流親善課までお気軽にお問い合わせください。

詳しくは、<http://www.clair.or.jp/j/exchange/shimai/kibou.html> をご覧ください。

多文化共生課

地域国際化協会職員国内研修会を開催！

7月25日・26日、地域国際化協会の事業担当者を対象とした研修会を開催しました。今回は全国で多言語の一元的相談窓口の設置・拡充がすすむ中、「外国人相談事業運営担当者」に求められる役割 一連携・ネットワークの構築」をテーマに開催し、40人が参加しました。

研修会では、法務省出入国在留管理庁の概要説明のあと、相談員、弁護士、NPO法人等相談窓口の運営や専門相談に取り組むそれぞれの立場からご講義いただきました。また、(公財) 仙台観光国際協会の菊池哲佳氏をファシリテーターとしたワークショップ、ワールド・カフェにおいて、外国人相談事業のさまざまな課題について学ぶとともに、今後のあり方や目指すべき方向について考え、理解を深めました。今後も研修会を通じて、協会職員の資質向上とネットワークの形成促進に努めます。



ワールド・カフェの様子